

血液製剤使用実態調査 【病態別・術式別血液製剤使用量調査票】

○病床数200床以上(平成17年9月末許可病床数)の医療機関にお尋ねします。

下記の病態別・術式別の症例について、平成18年2月1日から遡って直近の連続した20例(最大、平成17年1月1日まで遡って下さい。)について御回答下さい。

(1) 貴医療機関において、下記疾患について、外科手術等を実施した症例(患者は20歳以上、但し、「10 急性白血病」は、一部小児を含む)について、各症例毎に、平成18年2月1日から平成17年1月1日まで遡って、直近の連続した20例の実績を別紙の調査票(別添2-1~別添2-10③)に記入して下さい。

- \* 血液製剤の投与の有無は問いません。
- \* 10①~③については、各々20例を御回答下さい。

(2) 調査表の各項目について、記入又は該当する箇所に○を付けて下さい。

\* 自己血輸血法: 貯血式(手術前に自己の血液を予め採血、保存する方法)、希釈式(手術開始前に採血し、人工膠質液を輸注する方法)、回収式(術中・術後に出血した血液を回収する方法)

(3) 調査票の標題(疾患名)横の該当欄に以下の事項も記載して下さい。

- ① 対象疾患の症例実績(平成17年1月1日から平成17年12月31日の年間実績)
- ② 効率的血液準備法として、活用した方法(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)で該当するものに○を付けて下さい。  
\* 効率的血液準備方法: T&S法(血液型不規則抗体スクリーニング法)、MSBOS(最大手術血液準備量)、SBOE(手術血液準備量計算法)

(4) 調査票の左欄(患者番号欄)に、貴医療機関で使用されている患者さんのI. D. 番号を記入して下さい。(調査後に、内容を確認して頂くことがあるため)

1 胃癌(全摘手術例のみ)	2 肝細胞癌(亜区域切除例以上)	3 心臓病(人工心肺使用例のみ)	4 直腸癌(前方切除例のみ)
5 胸部食道癌(内視鏡術は除く)	6 脳腫瘍(神経膠腫又は髄膜腫に限る)	7 脳血管疾患(くも膜下出血又は脳内出血に限る。但し脳血管クリッピングは除く。)	
8 子宮癌(広汎子宮全摘術のみ)	9 分娩時異常出血		
10① 急性骨髄性白血病(16歳以上かつ化学療法のみ。) 10② 急性リンパ性白血病(15歳以下かつ化学療法のみ。) 10③ 急性白血病(同種造血幹細胞移植例)			

1 胃癌(全摘手術例のみ) ( 症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1: 該当するものに○を付けて下さい。  
注2: 「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	リンパ節 郭清	stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱入血漿蛋白+人血漿7477)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3: 記録があれば 記入して下さい
										総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (g)	投与直前 検査値		
1 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
2 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
3 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
4 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
5 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
6 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
7 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
8 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 ( INR ) ( % ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( ) うち術中 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( g/dL ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g

29

2 肝細胞癌(亜区域切除例以上) ( 症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1: 該当するものに○を付けて下さい。

注2: 「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I.D.番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	切 除 範 囲	stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清7.6%)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3: 記録があれば 記入して下さい
										総使用量 (単位) うち術中 ( )	注2 投与直前 検査値 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 (単位) うち術中 ( )	注2 投与直前 検査値 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 (単位) うち術中 ( )	注2 投与直前 検査値 血小板数 ( /μL)	総使用量 (g) うち術中 ( )	注2 投与直前 検査値 アルブミン濃度 ( )		
1 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
2 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
3 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
4 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
5 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
6 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
7 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
8 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①Hrs ②Hr1 ③Hr2以上	( )	肝硬変(有・無) *有の場合 臨床病期(I. II. III) その他 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( ) APTT値 ( %) (倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 (g) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g

注1: 該当するものに○を付けて下さい。

注2: 「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	術 式	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液 (MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清アルブミン)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3: 記録があれば 記入して下さい
									総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (g)	投与直前 検査値		
1 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	①大動脈解離に対する血管置換術 ②弁置換術 ③冠動脈バイパス術	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( %) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
2 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	①大動脈解離に対する血管置換術 ②弁置換術 ③冠動脈バイパス術	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( %) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
3 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	①大動脈解離に対する血管置換術 ②弁置換術 ③冠動脈バイパス術	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( %) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
4 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	①大動脈解離に対する血管置換術 ②弁置換術 ③冠動脈バイパス術	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( %) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
5 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	①大動脈解離に対する血管置換術 ②弁置換術 ③冠動脈バイパス術	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( %) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
6 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	①大動脈解離に対する血管置換術 ②弁置換術 ③冠動脈バイパス術	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( %) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
7 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	①大動脈解離に対する血管置換術 ②弁置換術 ③冠動脈バイパス術	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR) ( %) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g

31

4 直腸癌(前方切除例のみ)

( 症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1:該当するものに○を付けて下さい。

注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I.D.番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	リンパ節 郭清	stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清アルブミン)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備考 注3:記録があれば 記入して下さい
										総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (g)	投与直前 検査値 注2		
1 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
2 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
3 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
324 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
5 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
6 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
7 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
8 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( %) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( ) うち術中 ( )	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( ) うち術中 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g

5 胸部食道癌(内視鏡術は除く) ( 症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

注1: 該当するものに○を付けて下さい。

注2: 「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	リンパ節 郭清	stage (分類法)	主な合併症 術前の併用療法	血液製剤の 投与の有無	出血量 ml	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清7.6%)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3: 記録があれば 記入して下さい
										総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (g)	投与直前 検査値		
1 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	
2 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	
3 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	
4 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	
5 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	
6 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	
7 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	
8 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①D <sub>0</sub> ②D <sub>1</sub> ③D <sub>2</sub> ④D <sub>3</sub> 以上	( )	合併症 無・有 ( ) 併用療法 ①化学療法 ②放射線照射	①有 (自己血輸血の 併用: 有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 (g/dL) Ht値 (%)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	PT値 (INR) (%) APTT値 (%) フィブリノゲン値 (mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	血小板数 ( $\times 10^3$ )	アルブミン濃度 (g/dL)	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g	

33

6 脳腫瘍(神経膠腫又は髄膜腫に限る)

( 症例/年 )

効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

別添2-6-①

注1:該当するものに○を付けて下さい。  
注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量	年 齢	性 別	身 長	体 重	疾患名 stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清7% <sup>注2</sup> )		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考
									総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (g)	投与直前 検査値 注2		
患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ( ) ②髄膜腫 stage ( )	無・有 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( % ) APT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( g/dL )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ( ) ②髄膜腫 stage ( )	無・有 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( % ) APT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( g/dL )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ( ) ②髄膜腫 stage ( )	無・有 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( % ) APT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( g/dL )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ( ) ②髄膜腫 stage ( )	無・有 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( % ) APT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( g/dL )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ( ) ②髄膜腫 stage ( )	無・有 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( % ) APT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( g/dL )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ( ) ②髄膜腫 stage ( )	無・有 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( % ) APT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( g/dL )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①神経膠腫 ( ) ②髄膜腫 stage ( )	無・有 ( )	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( % ) APT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( g/dL )	採血量 注3 ml 使用量 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g

7 脳血管疾患(くも膜下出血又は脳内出血に限る。但し脳血管クリッピングは除く。)

( 症例/年 ) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し)

別添2-7-①

注1:該当するものに○を付けて下さい。 注2:「投与直前」は、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	疾 患	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血漿70%注2)		備 考 注3:記録があれば 記入して下さい
									総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (単位)	投与直前 検査値 注2	総使用量 (g)	投与直前 検査値 注2	
1 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g
2 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g
3 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g
4 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g
5 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g
6 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g
7 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g
8 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①くも膜下 出血 ②脳内出血	無・有	①有 ②なし	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL ) Ht値 ( % )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	*血液準備量 赤血球濃厚液( )単位 新鮮凍結血漿( )単位 血小板濃厚液( )単位 アルブミン製剤( )g

注1: 該当するものに○を付けて下さい。

注2: 「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	身 長	体 重	stage (分類法)	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血清アルブミン)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	備 考 注3: 記録があれば 記入して下さい
								総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (g)	投与直前 検査値		
1 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
2 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
3 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
4 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
5 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
6 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
7 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
8 患者番号 ( )		cm	kg	( )	( )	無・有	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 ( INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g

36

9 分娩時異常出血

( 症例/年) 効率的血液準備法 注1(T&S法、MSBOS、SBOE、該当無し) 注2:該当するものに○を付けて下さい。

別添2-9-①

注2:「投与直前」とは、術前1日以内

使用薬剤 投与量	年 齢	身 長	体 重	主な合併症	血液製剤の 投与の有無	出血量	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		アルブミン製剤 (加熱人血漿蛋白+人血漿74733)		自己血 (貯血式又は 希釈式) *回収式を除く	フィブリノゲン製剤 の使用の有無	備考
							総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (単位)	投与直前 検査値	総使用量 (g)	投与直前 検査値 (g/dL)			
患者番号 ( )	cm	kg	( )	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL) FDP値 ( μg/mL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )	cm	kg	( )	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL) FDP値 ( μg/mL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )	cm	kg	( )	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL) FDP値 ( μg/mL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )	cm	kg	( )	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL) FDP値 ( μg/mL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )	cm	kg	( )	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL) FDP値 ( μg/mL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )	cm	kg	( )	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL) FDP値 ( μg/mL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g
患者番号 ( )	cm	kg	( )	無・有	①有 (自己血輸血の 併用:有・無) ②自己血輸血のみ ③無	出血量 ml	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL) FDP値 ( μg/mL)	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 血小板数 ( )	総使用量 ( ) うち術中 ( )	無・有 アルブミン濃度 ( )	採血量 注3 ml 使用量 ml	無・有 総使用量 ( ) うち術中 ( )	*血液準備量 ( )単位 赤血球濃厚液 ( )単位 新鮮凍結血漿 ( )単位 血小板濃厚液 ( )単位 アルブミン製剤 ( )g

10① 急性骨髄性白血病(16歳以上かつ化学療法のみ。) ( 症例/年)

総使用量は、寛解導入療法後(最終薬剤投与日をday0とする)から4週間までの血液製剤の使用量を記載して下さい。

注1:「投与直前」とは、投与前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	初回例 再発例 の区分	血液製剤 の投与の 有無	主な合併症	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液	
								総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値	総使用量 (単位)	注1 初回投与直前 検査値 (万/ $\mu$ L)
1 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )
2 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )
3 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )
4 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )
5 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値 ( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )

10② 急性リンパ性白血病(15歳以下かつ化学療法のみ。) ( 症例/年)

別添2-10②-①

総使用量は、寛解導入療法後から、8週間迄の血液製剤の使用量を記載して下さい。

注1:「投与直前」とは、投与前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	初回例 再発例 の区分	血液製剤 の投与の 有無	主な合併症	寛解・ 不応 の区分	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		免疫グロブリン製剤	
									総使用量 (単位)	初回投与直前 検査値 注1	総使用量 (単位)	初回投与直前 検査値 注1	総使用量 (単位)	初回投与直前 検査値 注1	総使用量 (g)	使用理由
1 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	①寛解 要日数 ( ) ②不応	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( ) 総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )
2 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	①寛解 要日数 ( ) ②不応	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( ) 総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )
3 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	①寛解 要日数 ( ) ②不応	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( ) 総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )
4 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	①寛解 要日数 ( ) ②不応	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( ) 総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )
5 患者番号 ( )		①男 ②女	cm	kg	①初回 ②再発	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	①寛解 要日数 ( ) ②不応	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( ) APTT値 ( % ) ( 倍 ) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	無・有 血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( ) 総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )

103 急性白血病(20歳以上、同種造血幹細胞移植症例) ( 症例/年)

総使用量は、移植後(移植日をday0とする)から4週間までの血液製剤の使用量を記載して下さい。

注1:「投与直前」とは、投与前1日以内

使用薬剤 投与量 患者番号 (I. D. 番号)	年 齢	性 別	身 長	体 重	移植及び疾患 のタイプ	血液製剤 の投与の 有無	主な合併症	赤血球濃厚液(MAP)		新鮮凍結血漿		血小板濃厚液		免疫グロブリン製剤		
								総使用量 (単位)	初回投与直前 検査値 注1	総使用量 (単位)	初回投与直前 検査値 注1	総使用量 (単位)	初回投与直前 検査値 注1	総使用量 (g)	使用理由	
1 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髓移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( )	総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )
2 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髓移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( )	総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )
3 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髓移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( )	総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )
4 患者番号 ( )		① 男 ② 女	cm	kg	移植 ①骨髓移植 (血縁・非血縁) ②臍帯血幹細胞移植 ③末梢血幹細胞移植 疾患 ①リンパ性 ②骨髄性	①有 ②無	無・有 ①感染症 ②DIC ③臓器出血の危険性 (有・無) ④その他 ( )	総使用量 ( )	無・有 Hb値 ( g/dL) Ht値 ( %)	総使用量 ( )	無・有 PT値 (INR ) ( %) APTT値( %) ( 倍) フィブリノゲン値 ( mg/dL)	総使用量 ( )	血小板数 投与直前値 ( ) 投与直前より前の値 ( )	総使用量 ( )	総投与回数 ( )	①重症感染症 ②無顆粒球症 ③その他 ( )

## 血液製剤の使用状況の記入方法

平成16年度(平成16年4月1日から平成17年3月31日)の実績をお伺いします。

1. 下表の輸血用血液製剤の年間使用量を単位数(1単位は200ml由来)で記入して下さい。  
(但し、自己血輸血は総使用量から除いて下さい。)  
\* 輸血用血液製剤の対象(製品名)は、参考2を参照して下さい。  
\* 廃棄分(期限内、期限外にかかわらず廃棄になったもの。日赤への返品を含む。)は除く。

製剤名	記入単位
赤血球濃厚液(MAP)	単位
新鮮凍結血漿	単位
血小板濃厚液	単位

2. 下表の血漿分画製剤の年間使用量(g)を記入して下さい。  
\* 備考欄の換算式により、本数からgへ換算して下さい。  
\* 血漿分画製剤の対象(製品名)は、参考3を参照して下さい。

製剤名	規 格	記入単位	備考
アルブミン製剤			(換算式)
加熱人血漿たん白	4.4%100ml	g	1本×4.4g
	4.4%250ml	g	1本×11g
人血清アルブミン	5%100ml	g	1本×5g
	5%250ml	g	1本×12.5g
	20%20ml	g	1本×4g
	20%50ml	g	1本×10g
	25%20ml	g	1本×5g
	25%50ml	g	1本×12.5g
	合計	g	
免疫グロブリン製剤			
静注用免疫グロブリン	10ml0.5g	g	1本×0.5g
	20ml1g	g	1本×1g
	50ml2.5g	g	1本×2.5g
	100ml5g	g	1本×5g
	合計	g	

分類	製剤名	規格・単位	製品名(例示)
輸 血 用 血 液 製 劑	赤血球濃厚液	200ml由来 1袋	赤血球M・A・P「日赤」
	(MAP)	400ml由来 1袋	赤血球M・A・P「日赤」
		200ml由来 1袋	照射赤血球M・A・P「日赤」
		400ml由来 1袋	照射赤血球M・A・P「日赤」
	新鮮凍結血漿	80ml 1袋	新鮮凍結血漿「日赤」
		160ml 1袋	新鮮凍結血漿「日赤」
		450ml 1袋	新鮮凍結血漿「日赤」
	血小板濃厚液	1単位約 20ml 1袋	濃厚血小板「日赤」
		2単位約 40ml 1袋	濃厚血小板「日赤」
		5単位約100ml 1袋	濃厚血小板「日赤」
		10単位約200ml 1袋	濃厚血小板「日赤」
		15単位約250ml 1袋	濃厚血小板「日赤」
		20単位約250ml 1袋	濃厚血小板「日赤」
		1単位約 20ml 1袋	照射濃厚血小板「日赤」
		2単位約 40ml 1袋	照射濃厚血小板「日赤」
		5単位約100ml 1袋	照射濃厚血小板「日赤」
		10単位約200ml 1袋	照射濃厚血小板「日赤」
		15単位約250ml 1袋	照射濃厚血小板「日赤」
		20単位約250ml 1袋	照射濃厚血小板「日赤」
		10単位約200ml 1袋	濃厚血小板HLA「日赤」
	15単位約250ml 1袋	濃厚血小板HLA「日赤」	
	20単位約250ml 1袋	濃厚血小板HLA「日赤」	
	10単位約200ml 1袋	照射濃厚血小板HLA「日赤」	
	15単位約250ml 1袋	照射濃厚血小板HLA「日赤」	
	20単位約250ml 1袋	照射濃厚血小板HLA「日赤」	

分類	種類	規格・単位	製剤名(例示)
血漿分画製剤	加熱人血漿たん白	100mL1瓶	献血アルブミンートニチャク(日本製薬=武田)
		250mL1瓶	献血アルブミンートニチャク(日本製薬=武田)プラスマネート・カッター(ハイエル)プラスマ°ロテインフラクション(ハクスター)
	人血清アルブミン	5%100mL1瓶	献血アルブミン(5%)Wf(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) プミネート5%(ハクスター)
		5%250mL1瓶	アルブミン-5%(ZLB) アルブミン(5%)・カッター(ハイエル) プミネート5%(ハクスター)
		20%20mL1瓶	献血アルブミンニチャク(日本製薬=武田) 献血アルブミン20“化血研”(化血研=アルフレッサファーマ=アステラス=ZLB) 赤十字アルブミン20(日赤)
		20%50mL1瓶	献血アルブミンニチャク(日本製薬=武田) 赤十字アルブミン20(日赤) アルブミン-ヘーリング(ZLB) 献血アルブミン20“化血研”(化血研=アルフレッサファーマ=アステラス=ZLB)
		25%20mL1瓶	献血アルブミン-Wf(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) アルブミン(25%)・カッター(ハイエル) プミネート25%(ハクスター)
		25%50mL1瓶	赤十字アルブミン25(日赤) 献血アルブミン25“化血研”(化血研=アルフレッサファーマ=アステラス=ZLB) 献血アルブミン-Wf(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) 献血アルブミン25ニチャク(日本製薬=武田) アルブミン-25%(ZLB) アルブミン(25%)・カッター(ハイエル) アルブミン25%「ハクスター」(ハクスター) プミネート25%(ハクスター) アルブミン-Wf(ヘネシス=三菱ウエルファーマ)
	人免疫グロブリン(静注用)	500mg10mL 1瓶	献血ヘニン-I(化血研=帝人) 献血グロヘニン-Iニチャク(日本製薬=武田)
			献血ウエノグロブリン-IHヨシミ(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) ホリグロピンN(ハイエル) ガンマ・ヘニンP500mg(ZLB)
		1g20mL1瓶	献血ヘニン-I(化血研=帝人) 献血ウエノグロブリン-IHヨシミ(ヘネシス=三菱ウエルファーマ)
		2.5g50mL 1瓶	献血ヘニン-I(化血研=帝人) 献血静注グロブリン“化血研”(化血研=アルフレッサファーマ=ZLB) ガンマ・ヘニンP2.5g(ZLB) ガンマガード(ハクスター) サングロホール(ZLB) ホリグロピンN(ハイエル) 献血ウエノグロブリン-IHヨシミ(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) ウエノグロブリン-IH(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) 献血グロヘニン-Iニチャク(日本製薬=武田)
5g100mL1瓶			献血ヘニン-I(化血研=帝人) 献血グロヘニン-Iニチャク(日本製薬=武田) 献血ウエノグロブリン-IHヨシミ(ヘネシス=三菱ウエルファーマ)
乾燥濃縮人アンチロビンIII	500単位1瓶	アンソピンP(化血研=ZLB) アンソピンP-ヘーリング(ZLB) ノイアト(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) 献血ノスロン500注射用(日本製薬=武田)	
	1500単位1瓶	ノイアト静注用1500単位(ヘネシス=三菱ウエルファーマ) 献血ノスロン1500注射用(日本製薬=武田)	

薬食発第1227001号  
平成16年12月27日

各都道府県知事 殿

厚生労働省医薬食品局長

### 血液製剤の平均的使用量について

血液事業の推進については、平素より格別の御高配を賜っているところである。

さて、厚生労働省では、平成16年7月、より安全・安心な輸血医療が行われることを目指し「輸血医療の安全性確保のための総合対策」を取りまとめた。同対策では、血液製剤の安全性の向上、国内自給を基本とする安定供給の確保及び医療安全の観点から、血液製剤の適正使用を推進することとしており、輸血医療を行う医療機関に対して、適正使用に関する取組を一層強化するよう要請することとしているところである。

この一環として、厚生労働省では、今般、医療機関ごとの血液製剤使用量について調査を実施し、その結果を基に病院機能別の血液製剤の標準的使用量を表Ⅰ及び表Ⅱのとおり取りまとめた。この表では、病床規模、全身麻酔手術件数、心臓手術件数等を指標として病院機能を分類し、各分類パターンごとに一床当たりの年間血液製剤使用量を表している。

については、貴職におかれては別添「我が国における血液製剤の平均的使用量に関する研究」(報告)の内容を御了知の上、貴管下医療機関に対し、下記について周知徹底願いたい。

また、同報告によると、我が国では、諸外国に比して、赤血球使用量に対するアルブミンや新鮮凍結血漿(FFP)の使用量が多いことから、貴管下医療機関に対して、一層の適正使用を図るよう併せて周知願いたい。

### 記

- 1 各医療機関は、血液製剤の使用に当たっては、個々の症例に必要な相応量は当然とするも、表Ⅰ及び表Ⅱに掲載された病院機能分類パターンを参照し、自らの施設に合致するパターンの年間使用量の50パーセント値を参考とすること。
- 2 記の1において参照する年間使用量の90パーセント値を既に超過している製剤については、当該施設内で使用量の多い原因を検討すること。

表 I 病床数・4病院機能分類別の年間血液製剤使用量

利用方法

1. 下表中の自施設の病床数と病院機能分類パターンから自施設に該当するパターンを求める。該当パターンがない施設は表 II を使う。
2. 該当パターン行の右には1床当りの年間使用量が表示されているので、自施設の1床当りの年間使用量と比較する。
3. 例えばMAP50%値2.9とは対象施設の50%、半数の施設が1床当り2.9単位以下の使用量であることを示す。

注) ・各製剤の使用量は1床当りの年間使用量で表してある。  
 ・全麻手術件数の分類は1床当りの件数である。

病院機能分類パターン					MAP(U)		FFP(U)		PC(U)		アルブミン(g)	
病床	全麻	心臓	造血	血漿	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値
小	なし	なし	なし	なし	1.6	6.2	0.3	2.3	0.8	6.4	15	76
小	少	なし	なし	なし	2.9	7.1	0.6	3.0	0.9	5.0	18	65
小	少	なし	なし	有	5.0	9.5	1.3	6.8	1.3	9.5	28	119
小	多	なし	なし	なし	3.5	8.1	0.7	4.2	1.0	5.5	16	69
小	多	なし	なし	有	6.5	22.0	6.7	22.0	2.9	36.5	52	223
中	少	なし	なし	なし	3.5	5.9	1.3	3.7	1.6	5.4	28	55
中	少	なし	なし	有	4.2	6.4	1.9	5.1	2.6	8.6	34	92
中	少	有	なし	有	6.1	18.9	4.1	18.8	3.5	16.3	21	87
中	多	なし	なし	なし	4.7	7.5	1.6	5.0	2.6	12.0	31	76
中	多	なし	なし	有	5.2	8.5	2.9	7.2	4.6	15.2	44	97
中	多	なし	有	有	9.8	14.4	4.9	9.5	23.9	49.2	49	150
中	多	有	なし	なし	6.7	10.6	3.8	11.3	4.8	19.0	43	64
中	多	有	なし	有	8.8	15.7	5.3	15.1	7.3	16.0	56	145
中	多	有	有	有	11.2	19.4	7.4	16.9	20.3	59.5	68	153
大	多	なし	なし	有	5.8	9.9	3.7	6.6	9.9	24.1	47	94
大	多	有	なし	有	7.4	13.0	5.8	11.3	7.6	17.2	60	104
大	多	有	有	有	10.0	14.3	7.7	17.0	23.6	43.4	75	134

病院機能分類パターン					グロブリン(g)		FFP/MAP		(アルブミン/3 <sup>*</sup> )/MAP		((アルブミン/3 <sup>*</sup> )+FFP)/MAP	
病床	全麻	心臓	造血	血漿	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値
小	なし	なし	なし	なし	1.4	9.8	0.18	1.16	3.26	14.47	3.14	13.61
小	少	なし	なし	なし	1.4	5.3	0.21	0.81	1.92	6.86	2.22	7.21
小	少	なし	なし	有	2.2	10.0	0.34	1.20	2.84	8.85	2.92	9.58
小	多	なし	なし	なし	1.3	5.9	0.25	0.98	1.53	5.34	1.74	6.21
小	多	なし	なし	有	2.9	5.7	0.54	1.70	2.00	5.80	2.45	7.44
中	少	なし	なし	なし	2.0	5.6	0.36	0.98	2.53	5.54	3.01	5.85
中	少	なし	なし	有	2.4	6.4	0.46	1.08	2.48	5.79	2.87	6.60
中	少	有	なし	有	1.7	4.8	0.62	1.63	1.19	3.18	1.93	3.76
中	多	なし	なし	なし	2.7	5.5	0.32	1.02	1.85	4.64	2.40	5.20
中	多	なし	なし	有	3.5	7.6	0.55	1.22	2.33	4.68	3.04	5.40
中	多	なし	有	有	4.5	10.3	0.48	0.87	2.04	4.67	2.40	5.32
中	多	有	なし	なし	2.3	5.0	0.56	0.93	1.60	4.09	2.37	4.76
中	多	有	なし	有	3.6	6.7	0.64	1.25	1.92	4.42	2.74	6.06
中	多	有	有	有	6.2	17.8	0.80	1.35	1.73	5.17	2.59	6.40
大	多	なし	なし	有	3.7	11.7	0.49	1.14	2.24	4.57	2.76	5.15
大	多	有	なし	有	4.8	8.9	0.79	1.15	2.07	6.19	2.68	7.01
大	多	有	有	有	6.5	12.1	0.74	1.42	1.81	4.23	2.67	5.38

\* アルブミン3gをFFP1単位に相当するとして算出

病院別、病院機能別分類

病院機能(略称)	分類		
一般病床規模(病床)	小: 20-199床	中: 200-499床	大: 500床以上
全麻手術件数(全麻)	なし	少: 2.00件未満/年・病床当り	多: 2.00件以上/年・病床当り
心臓手術(心臓)	なし	有	
造血幹細胞移植(造血)	なし	有	
血漿交換(血漿)	なし	有	

表Ⅱ 病院機能分類別の血液製剤使用量

利用方法

1. 下表中の自施設の病床数と病院機能分類パターンから自施設に該当するパターンを求める。
2. 該当パターン行の右には1床当りの年間使用量が表示されているので、自施設の1床当りの年間使用量と比較する。
3. 例えばMAP50%値3.1とは対象施設の50%、半数の施設が1床当り3.1単位以下の使用量であることを示す。

- 注) ・表中の各製剤の使用量は1床当りの年間使用量で表してある。  
 ・全麻手術件数の分類は1床当りの件数である。  
 ・表Ⅰに該当パターンがない施設が対象となるが、病床数が「大」で全麻が「なし」に該当する施設は少数であることから平均使用量算出から除外してある。  
 ・90%値は該当施設数が11件以上ある場合のみ算出した。

機能パターン		MAP(U)		FFP(U)		PC(U)		アルブミン(g)	
病床	全麻	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値
小	なし	1.6	6.2	0.3	2.3	0.8	6.6	15	76
小	少	3.1	7.7	0.7	3.8	1.0	6.9	19	70
小	多	3.8	10.1	1.0	9.3	1.3	10.1	22	90
中	なし	0.1	—	0.1	—	0.4	—	3	26
中	少	4.2	7.0	1.8	5.0	2.5	8.8	30	74
中	多	5.8	12.4	3.2	9.5	5.7	23.0	42	105
大	少	4.1	9.9	1.5	7.5	6.2	28.8	20	91
大	多	9.3	13.9	6.5	14.1	19.5	38.9	69	131

機能パターン		グロブリン(g)		FFP/MAP		(アルブミン/3 <sup>*</sup> )/MAP		((アルブミン/3 <sup>*</sup> )+FFP)/MAP	
病床	全麻	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値	50%値	90%値
小	なし	1.4	9.9	0.17	1.20	3.24	14.51	3.16	13.63
小	少	1.5	5.7	0.24	0.90	1.96	7.10	2.26	7.28
小	多	1.7	6.8	0.31	1.21	1.64	5.48	1.84	6.23
中	なし	0.4	—	0.31	—	4.91	—	6.76	—
中	少	2.1	6.1	0.41	1.03	2.27	5.52	2.80	5.88
中	多	3.3	7.6	0.53	1.16	1.99	4.48	2.65	5.35
大	少	2.5	6.4	0.54	1.06	1.37	5.69	1.67	6.51
大	多	5.8	11.8	0.72	1.32	1.84	4.40	2.67	5.37

\* アルブミン3gをFFP1単位(U)に相当するとして算出

病院別、病院機能別分類

病院機能(略称)	分類		
一般病床規模(病床)	小: 20-199床	中: 200-499床	大: 500床以上
全麻手術件数(全麻)	なし	少: 2.00件未満/年・病床当り	多: 2.00件以上/年・病床当り